

記入後は財団事務局へ送付してください（FAX：027-220-4421または担当へメール送付）

自主ボランティア活動報告書

※全項目を記入してください。

活動日	令和7年6月5日	天気	晴
氏名		登録番号	1105

〈活動場所・行程〉

温泉小屋・赤田代～見晴～段小屋坂～白砂峠～沼尻平～沼尻休憩所～尾瀬沼

〈具体的な活動内容〉

①清掃活動

木道の間に落ちている菓子類の袋

沼尻休憩所周辺のビニール袋、梅干しの種、ペットボトルのキャップなど

尾瀬沼ビジターセンターに集めたゴミを提出、同時に自身の写真撮影

(ビジターセンター担当は玉田様)

②啓発活動

沼尻休憩所から尾瀬沼間で、枯れ木をストック代わりに使用する登山者が数名いた。

国立公園では自然保護のため規制が設けられており、特別保護地区では動植物の採集や損傷が禁止され、枯れ木を拾うことは禁止されていることをお伝えした。

③開花状況（草本、木本）

トガクシショウマ、イワナシ、ミヤマカンスゲ、エンレイソウ、オククルマムグラ、タケシマラン、コミヤマカタバミ、タテヤマリンドウ、フデリンドウ（森林内）、ヒメイチゲ、キクザキイチゲ、ニリンソウ、サンリンソウ、ツボスミレ、オオバタチツボスミレ、オオタチツボスミレ、ヤマトユキザサ、ヒメシャクナゲ、モウセンゴケシラネアオイ、ミズバショウ、リュウキンカ、ネコノメソウ、ツルネコノメソウ、ナツトウダイ、ワタスゲ、トクサ

ヒメウスノキ、コヨウラクツツジ、タムシバ、ハウチワカエデ、ダケカンバ、チシマザクラ、ミネザクラ、オオカメノキ、オノエヤナギ

〈現地の状況（混雑度（木道上を絶えず人が行き交う等具体的に）・植物・木道等）〉

①救急ヘリで負傷者搬送（6月4日）

温泉小屋に後頭部裂傷で血だらけの登山者が自分の足で歩いて到着。

オーナーが応急処置をした上で、救急ヘリで搬送された。

転倒した場所は平滑ノ滝周辺とのこと。前日の雨で滑りやすかったとは思うが燧裏林道の通行は体力と注意力が必要と再認識した。

②木道、残雪状況について

赤田代～尾瀬沼間の木道は特に危険と思われる箇所はなかった。

見晴～尾瀬沼間は樹林帯、峠に雪が残っておりイージーグリップを使用した。

踏み抜き箇所があちこちに見られ、注意しながら歩いた。

白砂峠周辺で団体客多数と行きかう。滑り止めを使用していない、手にビニール袋を持って歩くなどの様子が見られ、雪に足をとられる状況。怪我しないようにと

願う。

(前日歩いた山の鼻～見晴間は左右に動く危険な木道、腐食がひどい木道が目立った)

③赤田代にて海外（アジア）からの登山者が、湿原に足を下す、ザックを置くなどの様子がみられた。

〈ふりかえり（反省と改善方法、気づいたことなど）〉

①枯れ木をストックとして使用する登山者への啓発

国立公園特別保護地区において枯れ木を拾うことは禁止されていることを伝えた上で、どのような対応を求めるか、より理解してもらえるのか。

例・その場に置いてもらう　　・登山口で置いてもらう

②海外の登山者への自然環境保護の啓発

英語、韓国語、中国語による啓発ポスターを山小屋に貼っていただく、チラシを配布するなどしてはどうだろうか。

※報告内容のホームページ・機関誌等への掲載について（報告者は登録番号のみ表示）

可

・

否

（いずれかに○を付けてください）

（公財）尾瀬保護財団